



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和3年1月29日(金) 第40号

教育
目標

☆すすんで学ぶ子ども
☆思いやりのある子ども
☆ねばり強い子ども
☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



科学が好きな子どもの育成



以前、飼育ケースを大事に持って登校する姿が多くありました。中には、ダンゴムシやカマキリ、クワガタなどの昆虫がいました。「ダンゴムシはコンクリートも食べるの。」と目を輝かせて教えてくれた子もいました。



一方、中庭シルクガーデンでは、カナヘビ捕獲に夢中になっている子もいました。ニホントカゲの子の尾が美しいメタリックブルーに輝いているのを見せてくれた子もいました。傍らでは、キュウリグサの可憐な花と匂いに感動している子もいました。



生き物や草花、自然事象の不思議などに興味をもつ子が川俣小は多いと感じます。

今年度は、校舎付近ではあまり見かけないアゲハ蝶を呼び、卵・幼虫・蛹・成虫の完全変態を観察させたい思いから、職員室前花壇に葉山椒や柑橘植物を植えました。



60cmほどの苗木は10匹超の幼虫の密集状態となりました。ある教室では飼育箱の中でアゲハ蝶の羽化を観察できました。

生活科や理科、総合的な学習の時間等の授業場面でも、目にする自然事象や科学の面白さ・不思議さを熱心に観察したり調べたり話し合ったりしながら追究する姿が多くあります。全校集会「おもしろ実験講座」などでも子どもたちの目が輝きます。自然体験や追究体験が、子どもたちに科学する力をしっかりつけていくものと思います。



2020 ソニー賞「奨励校」受賞



上記の「夢中で真理を追い求める子どもの姿」や科学が好きな子どもを育てるための本校の3つのプランや環境づくり等をまとめた「ソニー子ども科学教育プログラム2020教育実践論文『科学が好きな子どもを育てる』～シルクプラン2020川俣小からの再出発～」が先日、全国審査の結果「奨励校」受賞となりました。科学は、私たちの暮らしを便利で豊かにしてくれるだけでなく、例えば原発事故後の対処、大地震や異常気象、自然災害などの予測、感染症対策等々、私たちの命や健康・安全にもこれまで寄与してきました。今後も「なぜ、不思議、おもしろい・・・」を原動力として、主体的に科学する心と力をもった子どもの育成に努めていきたいと思っています。